

学校だより

あいかわ なかはら

11月



令和3年 11月2日(火)
愛川町立愛川中原中学校
愛川町角田210
Tel.046(286)2710
発行責任者 萩原 百合子

修学旅行を終えて

校長 萩原 百合子

10月16日から二泊三日で、3年生は修学旅行に行ってきました。9月実施予定だったものが緊急事態宣言の発令によって、一ヶ月延期したものです。3年生は2学期になってから特に健康管理に気をつけており、当日も元気に出発することができました。1日目は奈良公園散策と薬師寺、昨年よりは人出が多くなってはいましたが、例年の混雑ほどではなく行程は順調に進みました。2日目はクラスごとに見学場所を選んで、バスで移動しました。昼食の嵐山は3クラスとも共通で、昼食後の嵐山散策を楽しみました。日曜日だったこともあり、やや観光客が多かったように思います。3日目は、清水寺散策、青空に映える清水寺はとても美しかったです。帰りの新幹線に乗るまではとても順調で、子どもたちはとても生き生きと活動し、笑顔いっぱいでした。ところが、岐阜羽島駅手前を走っていた時、2本前の新幹線の事故を知らされ、名古屋駅で事故処理が終わるまで待たされることになりました。待っている間には随時、先生に断って外の空気を吸いに行ったり、クラスごと担任が付いてホームをストレッチしながら歩いたり、気分転換をはかりました。子どもたちはカードゲームなどをして4時間近く我慢して過ごしてくれました。しかし、小田原駅に着く頃には体調を崩す生徒が複数おり、体調の回復を待ってからのバスの出発となりました。帰校時間がたいへん遅くなってしまい、保護者の皆さまにはご心配をおかけ致しました。当日は遅い時間にもかかわらず愛川中原中学校までお迎えに来ていただき、全員引き渡しをすることができました。中学校に近づいた時、誘導灯の赤い光・壁に映し出された『お帰りなさい』・そしてお迎えに来てくださった保護者の皆さまの姿に、どれほど力づけられたことでしょうか。

「ようやく帰って来られた。」とほっとしました。子どもたちも同じ思いだったと思います。保護者の皆さまのご理解とご協力に、心より感謝致します。また、この緊急対応のさなか、子どもたちの優しさには本当に力づけられました。大人たちが対応に忙しく動き回っている姿を感じ、カードゲームなどをして和やかに待っていてくれたこと、具合が悪い友だちの荷物を気軽に持ってあげたりしていたこと、さらには小田原駅で体調の回復を待っている間、誰一人文句も言わず仲間の体調を気遣っていたことなど、数々あります。素晴らしい子どもたちです。修学旅行全般を通して、仲間の大切さや集団行動の難しさなどを学び、子どもたちも教師もひとまわり成長したように思います。帰りの新幹線での出来事はハプニングでたいへんな思いもしましたが、一つの行事をやり終えたことでの達成感や充実感を味わうことができました。修学旅行から帰ってきて2週間が経ちましたが、新型コロナ感染はありません。これでようやく修学旅行を終えることができました。ご協力ありがとうございました。



保護者や地域の皆さまには、子どもたちが安全に過ごせるよう、何度も学校の環境整備に力を貸していただき、ありがとうございました。おかげで、ケガなく毎日の学校生活を送ることができています。今後も、変わらぬご理解とご協力をお願い致します。

11月の予定

4日(木) おはなしなごなごさん
3時間目で下校(給食なし)

5日(金) PTA あいさつ運動(1-3)

10日(水)・11日(木) 3年生期末試験

11日(木)・12日(金) 2年生校外キャリア学習

11日(木) 1年生校外学習

15日(月) 専門委員会

18日(木) 代表委員会

24日(水) 校内研究授業

26日(金)～12/1(水) 3年生三者面談

29日(月)・30日(火) 1・2年生期末試験



修学旅行を終えて

修学旅行実行委員長より

今回の修学旅行は、集団生活の中で自主的に考え主体的に行動できること、協調性を持ち社会規範やマナーを理解することを目標にしました。班活動、宿の過ごし方、特に2日目の京都散策では臨機応変に行動してお互いを思いやって行動している姿が見られました。この修学旅行の経験を忘れずに、これからの学校生活にいかしていきたいです。また、今回の修学旅行を実行するために協力して下さった保護者の方や先生方への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

修学旅行担当教員より

今年度のスローガンは「**廣大無辺～協（京）力したなら（奈良）大成功～**」でした。限りなく広いところに出て行っても、みんなで協力することができれば行事を成功させることができるという願いが込められていました。スローガン通り、慣れない土地・環境でも、実行委員の生徒を中心に学年みんなで義務教育最後の旅行的行事を最高のものにしようとする姿が見られました。修学旅行で発揮した、主体性、責任感、自治力を、進路選択や卒業式につなげていってほしいと思います。

～修学旅行の思い出～



1 学年 いのちの授業

10月7日に、助産師の風間なぎさ先生による講演会がありました。命の誕生までの話や出産時の話を聞き、命の大切さや生命誕生の奇跡について生徒自身実感することができていました。「お父さんやお母さんの子に自分が生まれて嬉しいと感じた」など、自分たちの命の大切さも感じられていました。



全国学力状況調査の結果を受けて

5月に実施された学力状況調査の結果が返ってきましたので、国語・数学の各教科の分析をしました。

【国語】国語の観点である「話す・聞く」また「漢字を正しく読む」の正答率は高かったものの、国語の基本である「書くこと」「読むこと」の得点は低めでした。今後、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意しながら、短い課題作文などに取り組むことによって自分の考えや意見が的確に相手に伝えられるよう努めていきたいと思います。

【数学】計算・処理をする力や公式と結び付けて考える問題については正答率が高かったです。しかし、文章問題や計算の問題でも分配・移項・等式など複数の作業を伴うものについては課題が見られました。

今後は文章問題や応用問題の単純化や簡略化する方法の反復練習などを通して「早く・簡単・正確」に解いていくスキルを積み重ねていきたいと思います。